



4月	8日	東アフリカ大手薬局チェーンGoodlife社に出資 ～アフリカにおける医薬品小売分野への事業拡大～
	15日	CFAO南アフリカ、EIEグループの買収により、CFAO Equipment South Africa社を設立
	19日	国内初、名古屋港で船舶向けバイオディーゼル燃料の供給トライアルを実施 ～船舶燃料の温室効果ガス削減により、カーボンニュートラル実現に貢献～
	21日	長崎県五島列島で医療用医薬品のドローン配送事業を開始 ～離島間の長距離定期物流網の構築による社会課題解決への貢献を目指す～
5月	10日	QunaSys社との資本業務提携契約を締結
6月	13日	カーボンニュートラル実現に向けた東邦ガス、トタルエナジーズとの協業について ～水素・合成メタンなどのバリューチェーン構築を目指す～
7月	1日	ESG投資指数「FTSE4Good Index Series」および「FTSE Blossom Japan Index Series」の構成銘柄に選定
	15日	カメルーン最大級のショッピングモール「PlaYce」を首都ヤウンデに開業 ～アフリカの生活者の需要に応えるリテール事業の強化～
8月	1日	ユーラスエナジーホールディングスの株式取得完了および完全子会社化について <small>詳細は、下記Global Vision達成に向けた取り組みをご覧ください</small>
	17日	インドに医療周辺サービスを行う合併会社を設立
	29日	TICAD 8において25件のMOU締結 <small>詳細は、P3・4の特集をご覧ください</small>
	30日	トレードワルツ社が9億円の追加資金調達を実施
	31日	米国での車載用電池工場に追加投資
9月	29日	配車サービスの車両オーナー向け管理プラットフォームを展開するFleetsimplify 社と新たな車両ファイナンス事業を展開するDrive to Own 社へ出資 ～ Mobility54/Health54 共催 スタートアップのピッチイベントで選定 ～



### ユーラスエナジーホールディングスの完全子会社化

～再生可能エネルギー事業の拡大加速に向けて～

豊田通商グループは、中期経営計画において、再生可能エネルギー事業を重点分野のひとつに位置付けています。当社は1980年代から、ユーラスエナジーホールディングスを核に国内外で、風力、太陽光、水力、バイオマスなどの多様な電源ソースで電気をつくってきました。現在、世界で3.6GWを超える総発電容量を持ち、これを2025年3月期には5GW以上、2030年3月期には10GW以上にすることを目指しています。

また2021年11月に策定した「カーボンニュートラルロードマップ2030」においても、再生可能エネルギー事業では温室効果ガス（GHG）削減に貢献する事業の推進を重要な戦略として

位置付けています。今回のユーラスエナジーホールディングスの完全子会社化により、同事業の拡大をさらに加速させていきます。

豊田通商グループは、未来の子供たちへより良い地球環境を届けるために、産業ライフサイクルを通じて、カーボンニュートラルへの取り組みを推進することで、脱炭素社会への移行に貢献していきます。

